



本プレスリリースは Danone (本社:フランス・パリ、会長兼 CEO:エマニュエル・ファベール)が 2019 年 5 月 8 日 (現地時間)にスペイン・バルセロナで発表した英文プレスリリースの抄訳です。

ダノン、最初のヨーグルト製造から 100 年を機に 1,800 菌株の歴史的コレクションを公開

*この取り組みは 食品・健康・持続可能性の研究での協力関係を促進すると
パスツール研究所は歓迎*

最初のヨーグルト製造から 100 年を迎えたことを祝して、ダノンは 5 月 8 日、研究目的のために 1,800 菌株のコレクションを公開すると発表しました。これには、パリのパスツール研究所生物資源機関 (Biological Resource Center of Institut Pasteur) に設置されている国立微生物寄託機関 (National Collection of Cultures of Microorganisms) に寄託されている 193 種類の乳酸菌およびビフィズス菌の菌株の最新コレクションへのアクセスも含まれます。また、ダノンの歴史遺産を全人類の利益のために共有するという目的のため、パリ・サクレ大学リサーチ&イノベーションセンターにある 1,600 以上の菌株コレクションも世界中の研究者に公開する予定です。

今回の発表は、オープンサイエンスの推進、科学研究の門戸を開く動き、協働ネットワークを通じた知識の共有と発展に向けたダノンの取り組みを促進するものです。また、ダノンの 2030 年目標の達成を後押しすると共に、最も重要なこととして、パートナーと手を携えてフード・レボリューションの推進に貢献するという会社の目標達成にも貢献しています。

アイザック・カラソーの歴史遺産を基に、腸と健康全般における発酵の役割に関する研究を前進

この発表は国際的に著名な生物医学研究センターであるパスツール研究所も歓迎しています。本研究所は 1887 年にルイ・パスツール (Louis Pasteur) によって設立され、現在では世界各国 32 カ所に研究機関のネットワークをもつ世界トップレベルのグローバルな研究センターです。

最初のダノン・ヨーグルトは、パスツール研究所の免疫学者イリヤ・メチニコフ (Elie Metchnikoff) が行った腸と健康全般における発酵の役割についての研究から着想を得たアイザック・カラソー (Isaac Carasso) によって、1919 年にバルセロナで作られました。バルセロナの子どもたちの腸の健康状態の悪さに着目したアイザックが行動を起こし、乳酸発酵させた最初のヨーグルトをバルセロナの薬局で売り始めたものです。長年にわたる研究と革新、国際的な研究者との協働を通じてダノンは大変幅広い遺伝的多様性をもつ菌のコレクションを築き上げました。

例えば、ヨーグルトや発酵乳の製造に使う特殊な細菌である乳酸菌およびビフィズス菌は、食品および非食品の両方でさまざまな用途がありますが、その多くは現在まで十分に解明されていないか利用されていません。これらには、以下に挙げる健康、社会、環境に関する問題や課題への取り組みに役立つ可能性があります。

For more information, please contact:

Corporate Communications: +33 1 44 35 20 75 – Investor Relations: +33 1 44 35 20 76
Danone: 17, Boulevard Haussmann, 75009 Paris, France

- 発酵食品の多様性を広げ、付加価値の高い乳製品を開発することで、農家の収入源を拡大
- 収穫されて貯蔵されている食品だけでなく、作物における菌類、細菌、ウイルスの繁殖を防ぐことで収穫物や食品の損失を削減
- 土壌の保護と再生
- 乳牛からのメタン排出の軽減
- 抗生物質の使用と抗生物質耐性の拡大を動物とヒトの両方で抑制
- 薬やワクチンをヒトに届けるためのより容易な方法の開発

全人類のために持続可能な価値を創出するというダノンの 2030 年目標の一環として、オープンサイエンスを推進

ダノンの会長兼 CEO であるエマニュエル・ファベールは、食品、健康、持続可能性の分野におけるパートナーおよび思想的リーダーとのダノン 100 周年を祝う 2 日間のイベントで次のように述べました。「人々のニーズに応えるという当社のコミットメントの一環として、ダノンは食を通じ、菌、発酵、健康に関する専門知識を構築するため、1 世紀にわたって投資を続けてきました。私たちのフードシステムと社会がかつてない多様な課題に直面している今、人類がより健康的で持続可能な世界に向けて進歩していけるように、ダノン固有の菌株コレクションを世界の研究者に公開できることを誇りに思います」

このイニシアチブは、ダノンがオープンサイエンスを促進するための広範な取り組みの一環です。他の一例として、ダノン・ニュートリシア・リサーチ (Danone Nutricia Research) は最近、米国カリフォルニア州サンディエゴのマイクロバイオーーム・イノベーション・センター (Center for Microbiome Innovation) と提携し、ヒューマン・ダイエット & マクロバイオーーム・イニシアチブ (Human Diets & Microbiome Initiative) を通じて、食事と人間の腸の関係についての理解を深めています。また、オープンサイエンスとイノベーションを促進するための科学的パートナーシップとより広範な協働を通じて、ダノンは 2030 年目標の達成に向けた歩みを着実に進めながら、具体的にはフード・レボリューション推進の原動力となるべくパートナーと力を合わせて取り組んでいます。これらのイニシアチブは、全人類のために持続可能な価値を創出するという善行のためにビジネスを活用し、世界的な規模で B コーポレーション (B-Corp™) になるというダノンの野心的目標にも繋がるものです。

* * *